

# 磐城新聞

休刊 大祭第一日  
 定額 五枚二銭、壹ヶ月  
 廣告料 (種別別) 五十銭  
 編輯部 進沼 龍輔  
 印刷部 進沼 龍輔  
 發行所 磐城新聞社  
 電話 3600

## 北國の旅から(二)

樺太豊原にて 黙 鐘 生

納内峠を過ぎて、神居古その年代などは詳らかでは  
 ないがアイヌは樺太の南部に居るに違いない。流  
 域に浴び其風光絶佳なるものがある。

「アイヌですか」  
 「いい景色ですね」  
 車室のそとに聲をきき、  
 稚内行き列車は、北國の岸、あるは、河川の流域  
 原野をヒタヒタと走り、一、ジプシーのやうな生活  
 無難の大平野は石狩川、  
 天鹽川に浴びて展開して  
 くる。廣漠とした原野を開墾  
 するならば樺太も、北海道  
 も其富源の鍵は優にこの大  
 原野からとれる事ができ  
 るであらう、打ち振れる大  
 森が山火事や遺跡跡帯に  
 見ると、其切端が黙々とし  
 て廣漠とした平野にまで  
 至り、其切端が黙々とし  
 て廣漠とした平野にまで  
 至り、其切端が黙々とし

一日の午後八時半頃稚内  
 に着いた、稚内から樺太の  
 大泊行きの連絡船がある。  
 僕は船に乗る為めに北海道  
 の終點稚内驛に漸く足を御  
 した、汽車も暗き暗き、あ  
 の原野を走つた彼れが鏡は  
 れるやうだ、稚内の埠頭に  
 立つとき漸く異國情緒が湧  
 いてくる、然し、凡ての住  
 民は内地人がない、外人の  
 姿などは一人も見えなかつ  
 た、僕ばかりだの疲れを休  
 める為めに船室も一等を獲  
 る、八時間の航海にも少  
 しの船酔ひも無く、極めて  
 気楽なベツトに横はり乍ら  
 其夜は北國の洋上に田村丸  
 と進んだ、二日朝七時頃愈  
 々大泊港に着いた、大泊は  
 將來樺太唯一の繁華な場所  
 になるであらうことを船上  
 で其感を深くした。

樺太の歴史を探るには其  
 しかし自由さがある、社会  
 的煩悩から職業的自由が  
 ら解放されて自分自身の  
 忠義の人と見て初めは必  
 ずしも悲し、涙み入つた  
 「拙いものでたれしう存  
 何んぞ他言を申しませう」  
 一息につこり微笑んだが双  
 眼は又しても溢るるばかり  
 の露に濡れてゐた。

二人はきつぱり云つた  
 眼は又しても溢るるばかり  
 の露に濡れてゐた。

「この上はせめて膝ながら  
 主君の御無事を祈り致し  
 ますでござりませう」  
 「うむ皆一緒に何處なりと  
 主君が御無事でおられるや  
 うにお祈り申さう」  
 「互に口ではさう云つた  
 が心のうちではさう云つた  
 無敵ではあるまいかと思ふ  
 と同じやうに暗然となつた  
 「さう、今宵は久しぶりだ  
 ことござりませう」  
 「と妙信尼が慰め顔に云つ  
 と妙信尼が慰め顔に云つ  
 と妙信尼が慰め顔に云つ  
 と妙信尼が慰め顔に云つ

「御無事なれば此の上なき  
 幸せにござりまするが先づ  
 諦めてたれなばなまゝいと  
 存じまする何しろ十八年の  
 「一度のお便りも無いので  
 ござりまするから……」  
 と清左門は涙を忍める  
 やうに云つた  
 花田數馬の助が身代りに  
 なつたよふことは妙信尼  
 も乳人も聞くのが今が初め  
 てであつた。  
 「主君様はあの坂上とやら  
 に討たれて果てなされた  
 ものばかり存じてたります  
 したが身代りであつたの  
 でござりまするか」  
 と妙信尼は意外にたどろ  
 いていつた。  
 「左様の事を知つてゐる  
 のは拙者も主君に近づき  
 てゐた清水八郎以下数名の  
 うら若き娘の頃よに相違  
 なくも哀愁の……」  
 「そんなら……」  
 と妙信尼は毛の露を拂つ  
 て微笑んで起ちあがると乳  
 人が心得で床の間に立てか  
 けてあつた茶を娘の前に直  
 した。  
 「さあ今年あたりがよから  
 う存じて居ります、姫君  
 と同じ十八才でござりませ  
 うか？」  
 清左門は涙を忍んで、  
 「さあ今年あたりがよから  
 う存じて居ります、姫君  
 と同じ十八才でござりませ  
 うか？」  
 清左門は涙を忍んで、

「さあ今年あたりがよから  
 う存じて居ります、姫君  
 と同じ十八才でござりませ  
 うか？」  
 清左門は涙を忍んで、

「さあ今年あたりがよから  
 う存じて居ります、姫君  
 と同じ十八才でござりませ  
 うか？」  
 清左門は涙を忍んで、



夜間診療  
**腸胃科** 内科 二十  
**梅毒科** 皮膚病 婦人病 淋病  
**専門部** 外科 内科  
**院病村松** 町南平  
 電話七〇一

外科、耳鼻咽喉科  
 内科、泌尿器科  
**X光線科**  
**赤心堂病院**  
 平町字田町  
 電話四七五

山崎合名会社  
 電話 一〇七五  
 振替東京一九七五五番  
 支店 東京  
 電話 下谷五七三番  
 振替東京六八三三番

佐藤材木店  
 常盤線平町 新川町  
 電話 三三五番

貸地廣告  
 平町郡役所より税務署附近の新開地  
 に一千餘坪の貸地があります、然  
 も完全な土盛でありますから流失  
 の他の憂ひ絶對にない商店、諸工場  
 並に高級の住宅地として最も適地  
 を極く安値にお貸しいたします  
 御希望の方は電話なり或は社員が伺ひして  
 親しく御相談に應じます  
**小名濱商事株式会社**  
 平出 張所  
 電話 五六一番

クーロイ散  
 のんですぐよく  
 神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、  
 肩のこり、其他疼痛時服用すれば奏  
 効的確なり  
 論より證據直ちに試みられよ  
 定價 三銭、五銭、一四  
**平町各藥店ニテ特約販賣致します**

ハチ シュ  
**蜂ブドウ酒**  
 やかに やかな  
 ……肉體美こそ特に御婦人方の生命とする  
 ところのものであります、ハチ切れ相なハチブ  
 ドウ酒、薄紅を醸し、如く皮肉の瑞き、その  
 貯蓄のたらしむべく醸られたハチブドウ酒は  
 精神増進のため、人々に飲まれては、  
 のすべてを驚かしたものであります

吉田新聞店へ  
 平白銀町

